



まだ誰も知らない安心を、ともに。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

自動運転ロボット専用保険プランの提供に向けて ～改正道路交通法の施行に伴う自動運転ロボットの社会実装をサポート～

2022年7月19日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、2022年4月に成立した改正道路交通法の施行に合わせ、自動運転ロボットの開発・販売事業を行う株式会社ZMP（代表取締役社長：谷口 恒）と自動運転ロボット向け専用保険プラン（以下、専用保険プラン）の共同開発を進めていきますので、お知らせします。

1. 背景

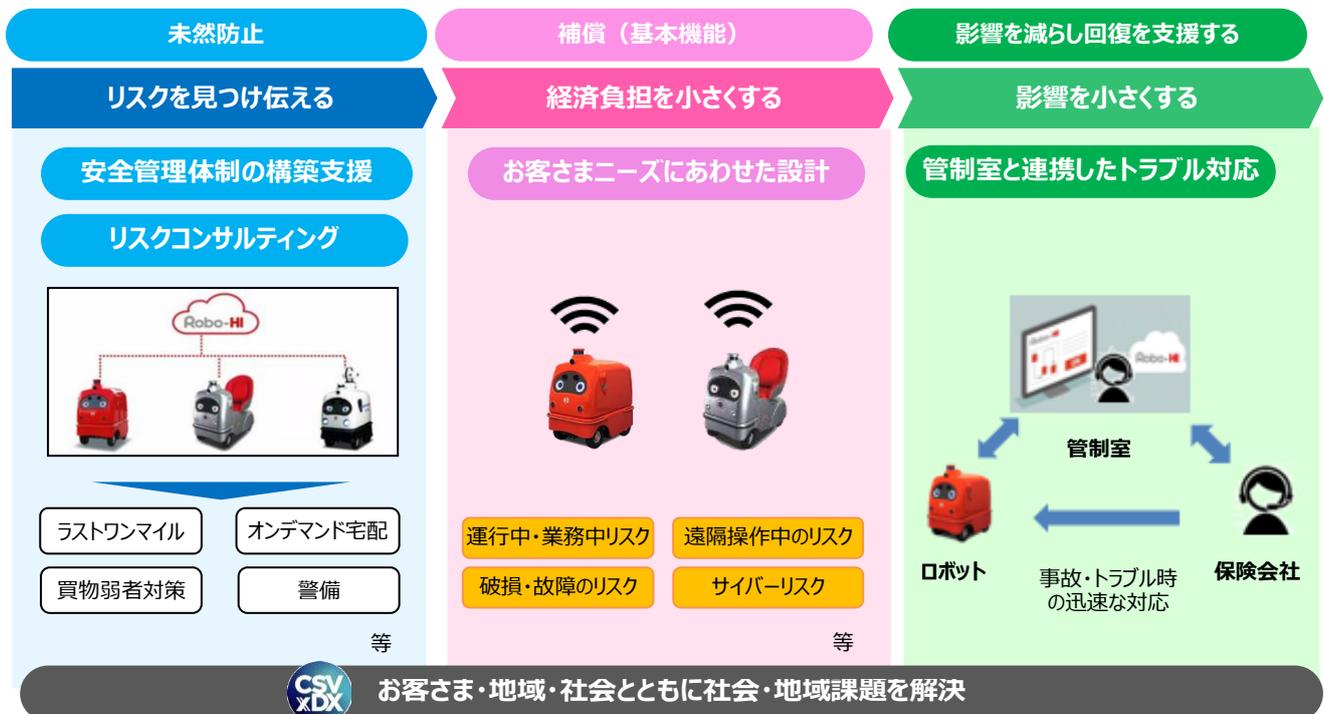
高齢化や過疎化による地域交通の担い手不足や、物流業界の人手不足といった地域課題・社会課題を解決し、生活の利便性を向上させる手段として自動運転ロボットの活用が期待され、様々な自治体や業界で実用化に向けた取組みが行われています。また、改正道路交通法により、自動運転ロボットに関する交通ルールが整備され、歩道を含む公道でのサービス実装が可能となる等、今後実用化の加速が見込まれています。

当社は2021年4月にロボット・自動運転技術をコアとする製品・サービスを提供する株式会社ZMPと資本業務提携を締結し、自動運転ロボットの安全・安心な実装を実現する専用商品・サービスの共同検討を行っています。

今般、今後のユースケースの多様化や本格実装をサポートしていくため、改正道路交通法に対応した自動運転ロボット専用の保険プランを共同開発することとしました。

2. 専用保険プランの概要

(1) 全体像



(2) プランの対象となる方

自動運転ロボットを活用したビジネスモデルを展開する事業者

(3) プランの内容

専用保険プランは、事故後の補償だけでなく、事故の未然防止や事故後の影響を減らすことにより、安全・安心を提供するプランです。

事故の未然防止に向けて、MS & ADインシュアランスグループのMS & ADインターリスク総研が、これまでの次世代モビリティに関わる実証実験を通じて蓄積してきたノウハウを活かし、自動運転ロボットのユースケースに応じたリスクコンサルティングをご提供します。

また、お客さまのニーズにあわせて補償プランを設計することができ、事故後においても、自動運転ロボットの管制室等と保険会社が連携することで、事故・トラブル時の迅速かつ円滑なサポートを実現します。

<プランの一例>

サービス・補償内容									
未然防止	自動運転ロボットのユースケースに応じたリスクコンサルティングのご提供								
事故後の補償	<table border="1"> <thead> <tr> <th>保険商品</th> <th>補償内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設所有（管理）者賠償責任保険</td> <td>第三者に対する損害賠償に関する損害（対人事故や対物事故等）</td> </tr> <tr> <td>動産総合保険</td> <td>自動運転ロボット本体の損害（破損や盗難による損害等）</td> </tr> <tr> <td>傷害保険（搭乗中のみ補償）</td> <td>搭乗型自動運転ロボット乗車中のケガ（ロボット転倒によるケガ等）</td> </tr> </tbody> </table>	保険商品	補償内容	施設所有（管理）者賠償責任保険	第三者に対する損害賠償に関する損害（対人事故や対物事故等）	動産総合保険	自動運転ロボット本体の損害（破損や盗難による損害等）	傷害保険（搭乗中のみ補償）	搭乗型自動運転ロボット乗車中のケガ（ロボット転倒によるケガ等）
	保険商品	補償内容							
	施設所有（管理）者賠償責任保険	第三者に対する損害賠償に関する損害（対人事故や対物事故等）							
	動産総合保険	自動運転ロボット本体の損害（破損や盗難による損害等）							
傷害保険（搭乗中のみ補償）	搭乗型自動運転ロボット乗車中のケガ（ロボット転倒によるケガ等）								
+									
オプション補償	自動運転ロボットのユースケースやお客さまニーズにあわせた補償（配送や警備に伴う損害、サイバー攻撃を受けた際の損害等）								
再発防止 影響極小化	自動運転ロボットの管制室と連携した、事故・トラブル時の迅速かつ円滑なサポート								

3. 今後の展開

今後、改正道路交通法の施行に合わせ、2022年度中にも自動運転ロボット専用保険プランの提供を開始します。

また、CSV×DX（シーエスブイバイディーエックス）※の概念に基づき、自動運転ロボットの多様なユースケースから得られる知見や運行データの分析を通じて、新たな補償や料率体系の構築・サービスの向上等、更なるバージョンアップに取り組むことで自動運転ロボットの普及を後押しし、安全・安心で快適な街づくりへ貢献していきます。

※CSV: Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

DX: Digital Transformation（データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること）

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま地域社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端独自の技術やデジタルデータの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま地域社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま地域社会とともに社会地域課題の解決にグローバルに取り組みます。

